

# 第3学年 算数科 学習構想案

日 時 令和7年1月24日（金）  
場 所 通級教室  
指導者 教諭 宮本 咲葵

## 1 単元構想

<b>単元名</b>	分数「分数を使った大きさの表し方を調べよう」（東京書籍P. 44～56）		
<b>単元の目標</b>	(1)分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し、分数の加法及び減法の計算について理解することができる。 <span style="float: right;">〔知識及び技能〕</span> (2)数学的表現を適切に活用して分数での端数部分の表し方や小数との関係を考えることができる <span style="float: right;">〔思考力、判断力、表現力〕</span> (3)分数の仕組みを用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする。 <span style="float: right;">〔学びに向かう力、人間性等〕</span>		
<b>単元の評価規準</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	①端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解している。 ②分数の加減法の計算や $\frac{1}{10}$ の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解している。	①基準量を任意に等分した単位分数の何こ分かを表していることに着目している。 ②数の大きさを図に表したり、計算したりする方法を考察している。	① 整数で表せない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさ今後の生活や学習に活用しようとしている。
<b>単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）</b>			
分数の意味や表し方を身に付け、数のまとまりに着目しながら計算の仕方を考え、その得られた結果を日常生活と関連させて見直したり、今後の学習に生かそうとしたりする児童			
<b>単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）</b>		<b>本単元で働かせる見方・考え方</b>	
整数で表せない数値を分数でどのように表せばよいか考えよう。		数のまとまりに着目し、分数で数の大きさを比べたり計算したりできるかどうか筋道立てて判断すること。	
<b>指導計画と評価計画（10時間取り扱い 本時8／10）</b>			
<b>過程</b>	<b>時間</b>	<b>学習活動</b>	<b>評価の観点等</b> ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	分数の意味に着目し、等分した長さの表し方を考える。	★【思①】（ノート・行動） ○等分することに着目し、1mのテープを3等分した1こ分の長さを分数うで表す方法を考え説明している。 【態①】（ノート・行動）
	2	単位分数の個数に着目し、分数を用いた長さの表し方を考える。	【知①】（ノート・行動）
	3	分数を用いた長さの表し方に着目し、分数を用いたかさの表し方を考える。	【思①】（ノート・行動）
	4	1目盛りの大きさに着目し、分数を数直線に表す方法を考える。	【知②】（ノート・行動）
二	5	単位分数に着目し、1より大きい分数の表し方を考える。	【思①】（ノート・行動）
	6	もとの大きさに着目し、 $\frac{3}{4}$ mもとの長さの $\frac{3}{4}$ の長さの違いを考える。	【知①】（ノート・行動）
三	7	0.1や $\frac{1}{10}$ は1を何等分しているのかに着目し、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数と分母が10の分数の関係について考える。	★【知②】（ノート・観察） ○ $\frac{1}{10}$ の表す意味や0.1の表す意味に着目して、分数で表される大きさと小数の関係を考え、説明している。
	8 (本時)	分数の仕組みに着目し、分数の加法の計算方法を考える。	★【思②】（ノート・観察） ○単位分数の何こ分かに着目し、整数と同じように分数の加減法の計算ができることを式や図を用いて考え、説明している。
	9	分数の仕組みに着目し、分数の減法の計算方法を考える。	【思①】【思②】（ノート・観察）
四	10	日常生活に関わらせた問題で、学習内容の定着を確認するとともに、本単元の学びを振り返る。	★【知①②】（「たしかめよう」の問題） ○基本的な学習内容を身に付けている。 ★【態①】（ノート） ○単元を通しての学びを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
小学校学習指導要領第3学年 A(6) 分数の意味と表し方 [知識及び技能] (ア) (イ) (ウ) [思考力、判断力、表現力] (ア)				
教材・題材の価値				
本単元は、分数の構成や大小、小数と分数の関係を理解するとともに、単位分数に着目して簡単な分数の加減の計算の仕方を考え、計算することができることをねらいとしている。				
本単元における系統				
<b>【第2学年】</b> ・ $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ 、 $\frac{1}{40}$ などの簡単な分数 ・ 「分数」の用語や意味 ・ 2量の関係の表し方	<b>【第3学年】</b> ・ 数の表し方や仕組み(小数第一位)、小数の加減計算	<b>【第3学年】</b> ・ 数の表し方や仕組み( $\frac{1}{10}$ の位) ・ 「分数」の用語 ・ 同分母分数の加減計算	<b>【第4学年】</b> ・ 「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味と表し方 ・ 大きさの等しい分数 ・ 帯分数を含む、同分母分数の加減計算	
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
<b>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況</b>				
調査内容(24人)	十分できる	概ねできる	できない	
もとの大きさの2分の1の大きさをとらえることができる。	15	8	1	
図からもとの大きさの何分の1の大きさかを読み取ることができる。	16	5	3	
小数で表されたはしたの量を図に表現できる。	20	3	1	
分数で表された量を図に表現できる。(未習)	11	7	6	
分数の足し算や引き算ができる。(未習)	4	5	15	
<b>■本単元の学習に関する意識の状況</b>				
調査内容(24人)	よく	まあまあ	あまり	ない
算数の学習は好きである。	10	13	1	0
友だちと話し合うことが好きである。	1	19	4	0
自分の考えをもつことができる。	9	11	4	0
わからないことがあったとき、友だちや先生に聞くことができる。	5	11	7	1
算数の授業で学習したことを次の学習や日頃の生活で生かすことができている。	4	17	3	0
<b>■考察</b> (資質・能力に関して) $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{3}$ など簡単な分数については概ね理解しており、何分の1の大きさなのかを答えたり、小数で表されたはしたの量を、図に表現したりすることができる。一方で、何分の1のような数ではなく $\frac{3}{4}$ などの数については、戸惑いがあり無回答の児童もいた。 (学びに関して) 意識調査の結果から、意欲的に学習に取り組むことができる児童が多い。班での学習を好む児童が多く、分からないことがあると教え合う姿が見られる。個人差はあるものの全体での発表を苦手を感じる児童がいるため、小グループでの学び合いの機会を設ける必要がある。				

## 3 指導に当たっての留意点(「校内研修の取組の視点」等から指導上の留意点等について明記)

### ①単元デザインの工夫

- 自分の学習状況等を把握するために、定期的に学習したことを振り返ったり、これからの見通しを立てたりする場面を設定する。その際、ワークシートを工夫し、単元全体の学びの過程がわかるようにする。

### ②学習過程の工夫(導入の工夫・解決活動の工夫・定着の工夫)

- 具体物等を見せながら問題を提示することで、意欲を持たせる。また、見通しの際に、図や数直線を活用して自分の考えを表記することやシラバスを提示し学習の流れを把握できるようにする。
- 学び合いでは、班全員がそれぞれの考え方を出し合いながらホワイトボードにまとめていく。また、「つまり」を使って考察することで、班学びを充実させるとともに学習内容の定着を図る。

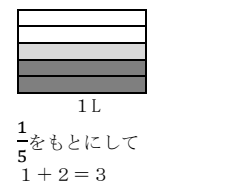
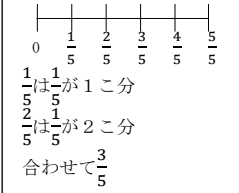
### ※「人権が尊重される授業づくりの視点から」等

- 相手意識を持って話したり、聞いたりすることで、一人一人が安心して学ぶことができる雰囲気作りが心がる。

4 本時の学習

(1) 目標 分数の表し方と仕組みに着目し、同分母の分数の加法の計算方法を考え説明することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p><b>1 前時の振り返りをする。</b></p> <p><b>2 問題を読み、気づきを共有する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ジュースが2つのペットボトルに<math>\frac{1}{5}</math>Lと<math>\frac{2}{5}</math>L入っています。あわせて何Lになりますか。</p> </div> <p>◇分かっていることはジュースが<math>\frac{1}{5}</math>Lと<math>\frac{2}{5}</math>Lです。                  ◇聞かれていることは、あわせて何Lになるかです。                  ◇ジュースの量だから単位はLです。                  ◇「あわせて」とあるので、たし算です。                  ◇式は<math>\frac{1}{5} + \frac{2}{5}</math>です。</p> <p><b>3 見通しを立てる。</b></p> <p>◇数直線が使えます。                  ◇リットル図が使えます。</p> <p><b>4 めあてを設定する。</b></p>	<p>○ペアや全体で振り返りを行う。</p> <p>○問題の挿絵や実物を提示し、<math>\frac{1}{5}</math>L、<math>\frac{2}{5}</math>Lがどのくらいの量なのかを全員で確認することで、自力解決の手がかりにできるようにする。</p> <p>○自力解決の見通しをもつことができるように、分かっていること、聞かれていること、単位、前時との違い、式を確認する。</p> <p>○めあてを書いて全員で読むとともに、まとめの書き出しを確認する。</p> <p>○班で解き方について話し合い、解く時に大切なことを確認する。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>【めあて】分数のたし算は、どのように計算すればよいだろうか。</b></p> </div>	
展開	25分	<p><b>5 一人学びを行う。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>1L <math>\frac{1}{5}</math>をもとにして <math>1 + 2 = 3</math></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>0 <math>\frac{1}{5}</math> <math>\frac{2}{5}</math> <math>\frac{3}{5}</math> <math>\frac{4}{5}</math> <math>\frac{5}{5}</math>  <math>\frac{1}{5}</math>は<math>\frac{1}{5}</math>が1こ分  <math>\frac{2}{5}</math>は<math>\frac{1}{5}</math>が2こ分                  合わせて<math>\frac{3}{5}</math></p> </div> </div> <p><b>6 班学びを行い、考えを伝え合う。</b></p> <p>◇<math>\frac{1}{5}</math>Lは<math>\frac{1}{5}</math>Lが1個分で<math>\frac{2}{5}</math>Lは<math>\frac{1}{5}</math>Lが2個分になる。                  ◇<math>1 + 2 = 3</math>になるから答えは<math>\frac{3}{5}</math>だと思う。</p> <p><b>7 全体で考える。</b></p> <p><b>【学び合い①】</b></p> <p>○似ているところを考える。                  ◇分子だけ計算している。                  ◇<math>\frac{1}{5}</math>をもとにして考えている。</p> <p><b>【学び合い②】</b></p> <p>○分子だけで計算する理由を考える。                  ◇<math>\frac{1}{5}</math>は<math>\frac{1}{5}</math>が1こ分で、<math>\frac{2}{5}</math>は<math>\frac{1}{5}</math>が2こ分だから。</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b></p> <p>● 単位分数を根拠に整数と同じように計算ができることを、式や図を用いて説明をしている。</p>	<p>○図、式、言葉など様々な方法で自分の考えを表現するように促す。</p> <p>○4人班で自分たちの考えをホワイトボードに書き説明し合う。</p> <p>○式、数直線、リットル図などの表現で説明させ、それぞれの考えを関連させる。</p> <p>○意見の交流のために全員で各班の意見を見て、同じところを見つけあう。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>【まとめ】分数のたし算は、もとにする分数のいくつ分になるかを考えて、分子だけをたして計算する。</b></p> </div>	
終末	10分	<p><b>8 本時をまとめる。</b></p> <p><b>9 適用問題を解く。</b></p> <p><b>10 本時の振り返りをノートに書く。</b></p> <p>◇今日は分数のたし算の仕方が分かった。                  ◇ひき算はどうなるのかな。</p>	<p>○和が整数になる問題を全体で確認する。</p> <p>○本時の見方・考え方を活用して解く問題を準備し、本時の学びの定着を確認する。</p> <p>○何が分かったか、できるようになったかだけでなく、分からなかったことやもっと知りたいことも振り返ることができるよう視点を提示する。</p>

**【板書計画】**

<p>1/24 分数</p> <p>① 分数のたし算は、どのように計算すればよいだろうか。</p> <p>② ジュースが2つのペットボトルに <math>\frac{1}{5}</math> と <math>\frac{2}{5}</math> L 入っています。あわせて何Lになりますか。</p> <p>式：<math>\frac{1}{5} + \frac{2}{5}</math></p> <p>③ ・単位はL ・分数のたし算 ・数直線 ・リットル図 ・言葉</p>	<p>1L</p> <p><math>\frac{1}{5}</math> をもとにして <math>1+2=3</math></p> <p>答えは <math>\frac{3}{5}</math></p> <p>つまり 分子だけをたす</p> <p><math>\frac{1}{5}</math>      <math>\frac{2}{5}</math></p>	<p>数直線に <math>\frac{1}{5}</math> と <math>\frac{2}{5}</math> の目もりをならべて書く。目もりを数えると <math>\frac{3}{5}</math></p> <p>つまり もとにする分数</p>	<p>つまり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">もとにする分数</td> <td style="width: 50%;">いくつ分</td> </tr> <tr> <td>分子だけ</td> <td></td> </tr> </table> <p>④ 分数のたし算は、もとにする分数のいくつ分になるかを考えて、分子だけを計算する。</p> <p>⑤ <math>\frac{3}{5} + \frac{2}{5} = \frac{5}{5} (1)</math></p> <p>⑥ ① <math>\frac{2}{4} + \frac{1}{4} = \frac{3}{4}</math> ② <math>\frac{4}{7} + \frac{2}{7} = \frac{6}{7} (1)</math></p> <p>⑦ わかったこと がんばったこと 友だちから学んだこと もっと知りたいこと</p>	もとにする分数	いくつ分	分子だけ	
もとにする分数	いくつ分						
分子だけ							

**【ICT活用計画】**：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

デジタル教科書にある問題や練習問題を電子黒板で表示する。

※その他 課題解決を図る情報収集計画、検証結果やパフォーマンスの記録計画など（シーンに応じて活用計画を立てる）

**【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】**

単元の終末では、見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む

単元の終末では、「ゆうチャレンジ単元別評価問題」小学校3年生算数「6 分数の意味や表し方」の問題に取り組む。